



平成 28 年 8 月 29 日

中国地方の大学による学外連携（地域連携ネットワーク）事業  
教育のユニバーサルデザイン化・アクセシビリティ推進に係る  
リソースの共有と育成を図る取り組みを行います

近年、障害のある学生の支援ニーズは多様化・高度化しており、特に発達障害・精神障害のある学生の入学当初の就学移行期や卒業年次における就労移行期の支援ニーズが増大傾向にあります。そうした支援ニーズが増大する中、平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行され、修学上の合理的配慮の円滑化が法的に義務付けられましたが、合理的配慮の内容はまだ十分に熟成されていない現状があります。

本学では、「全ての学生に質の高い同一の教育を保障し、評価の公平性を担保する」ことを理念として、これまで障害のある学生への合理的配慮に取り組んできておりますが、学内での対応にも限界があり、対応要領を定めるだけでなく、合理的配慮の実効性を高める学外連携も含めた支援システムの構築が急務となっています。

こうした中で、平成 27 年に本学を含む中国地方の 5 大学を設立メンバーとして、ゆーいーねっと  
UE-Net（Universal Design in Education Network）を設立し、教育のユニバーサルデザイン化・アクセシビリティ推進に係るリソースの共有と育成を図る、CRSP（Creative Resource Sharing Project）を開始しました。

平成 28 年 9 月から大学間における CRS（Creative Resource Sharing）を開始し、CRSP で出てきた課題（支援に関する機材・人材の需給バランス・稼働率の向上、1 教育機関あたりの支援コストパフォーマンスの向上、支援リソースの地域間格差の是正など）に具体的に取り組んでいく予定です。

地域の教育機関及び専門機関が連携して、合理的配慮に係る支援ニーズを地域で集約し、地域の支援リソースを共有・活用・育成する CRS を行っていくことにより、「いつでも・どこでも・質の高い支援を・ローコストで・誰でも容易に行う」ことが可能な教育環境の構築を目指します。

この CRS の取組により、合理的配慮に伴う負担の軽量化や教育のユニバーサルデザイン化に資する配慮の質的向上も期待できます。

詳細：アクセシビリティセンターHP <http://www.achu.hiroshima-u.ac.jp/>

【お問い合わせ先】

アクセシビリティセンター

山本幹雄

TEL:082-424-6324

FAX:082-424-6324